「営業の幅を増やしたい」

吉秀トラフィック 加温車を初導入

【京都】吉秀トラフィック（吉川秀憲社長、八幡市）では、自社初となる加温車を導入。新たに営業展開している。

同社は、2ﾄﾝ車から大型までのウイング車を主流に営業を展開してきたが、医薬品や精密機械、特殊フィルムなどの取引先で必要となるため、大型3台と増ﾄﾝ車2台の計5台を導入。新たに配送を始めている。同社長は「今まで加温車に関しての仕事はすべて協力会社にしてもらっていたが、ドライバー不足などで車両を集めることが難しくなってきたため自社で導入して走らせるように考えをシフトした」と話す。

初導入した加温車

同社は、積極的な会社のアピールだけでなく、求人を自社で工夫してトラックにQRコードや、八幡市の観光地、若者向けのデザインなどで会社のアピールに努めている。さらに、女性の雇用が進みやすいように敷地内に保育所の開所、従業員とその家族を招いた家族会などを開催している。

同社長は「常に新しいことをしていき、色々なことに取り組むことで働く人材にあった仕事を組み合わせていけるようにしている。採用時からしっかりとコミュニケーションを図り、仕事を選べるだけでなく、適材適所に配置できるように今までしたことの無い仕事も取り入れて営業をしていかないといけない」と話す。

第一に会社のことを考えながらも、「社員が色々な仕事に挑戦できる体制を構築したい」とし、「従業員と一丸となって仕事に取り組んでいきたい。今後も加温車を増車して新たな営業の幅を増やしていけるようにしたい」と語る。

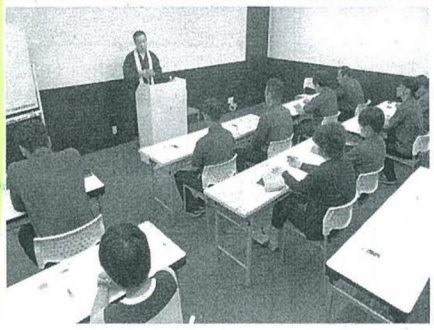
（中村優希）

「供養」をテーマに

東伸産業 研修会を開催

【兵庫】東伸産業（入江茂樹社長、神戸市東灘区）は7日、従業員を対象とした研修会を開催。運転職をはじめ、内勤者ら計14人が出席した。

講師には、岐阜県善光寺の松枝秀乗住職を招き、同社は研修会名を「ありがたいお言葉の会」と名づけた。同住職は、故人に対する供養（くよう）に関して、ある高校教師の葬式を務めた際のエピソードを紹介。校長がバスを貸し切り、「葬式に出席したい者は公休扱いにするので、全員のりなさい」と全校生徒に呼びかけたという。



同氏は、「校長先生から後に、『ありがとうという言葉を生徒に言わせたかった』と聞かされた。先生に最後の供養をさせてあげるためだった」と述べ、供養する側とされる側両方の心の持ち方を紹介。

同氏は、「いつかは自分に回ってくる」ことを表す回向（えこう）という言葉が、供養の同義語であるとしながら、「会社も、昔の方々が作った土台の上にあり、それを今いる人間が養っていく。支えているというプロ意識を持ってもらえれば」と述べ、時間軸の中に自らを置くことで養われる職業意識について話した。

入江社長は本紙に、「こうした形の研修会は今回が初めて。切り口を変えて社員を啓蒙できるような機会を提示していきたい」と話し、他の従業員にも研修会を聴講させていく考えを示す。

（西口訓生）

駆込み需要の反動懸念

京ト協南支部 勉強会など

【京都】京ト協南支部（山本敏裕支部長）は20日、都ホテル京都八条で勉強会と納涼例会を開催。33人が参加した。

冒頭、鈴木章副支部長は「今年は、長い連休が多く、お盆も9連休など前後が忙しかった。おそらく10月は増税で9月には駆け込み需要などで物流業界は忙しくなると思っている。その反動の10月以降が怖いと感じている」とし、「今日の講演は保険に関して色々なことを学べると思っている。是非活用してほしい」とあいさつした。

講師に、一級ファイナンシャルプランニング技能士でビジサポの橋爪宏明社長を招き、「知らないと一億円以上を損する事業保険の裏側」をテーマに講演した。

橋爪社長は、フリート保険契約料の差や割引率が一生悪化しない裏技、今、絶対に加入しないといけない保険など様々な事例を紹介して「取引する保険代理店選びで重要な損害保険5以命保険10社以

自社のブランドアピール

INT デザインTシャツ販売

【京都】INT（田中真紀社長、府亀岡市）のデザイン事業部は11日・12日に開催されたクリエーターズマーケットに参加し、デザインTシャツなどを販売。自社のブランドをアピールした。

同事業部は、年代を感じさせる造りにこだわり、レトロなデザインの製品やつなぎ、Tシャツなど約8種類200～300枚ほどを用意。同製品はすべて自社で製作したオリジナルブランド「Artint」で販売した。

田中社長は「多様な可能性があることに挑戦してみたいと思い、参加させてもらっている」と話す。

現在、同事業部では作業着やツナギ、スリッポンなどにバックプリントや刺繍を入れ、ユニフォームだけでなく、ファッションのトータルコーディネートができるように考えている。刺繍やプリントでもタギング文字やローマ字などを使ったデザイン性にこだわったもので、同社ではミシンやプリンターを導入して営業展開をしていく。

田中社長は「今回はデザイン事業部を立ち上げて、初めてこのようなイベントに参加させてもらった。色々な人のデザインなども見れて学べた部分もあるので次のイベントなどで参考にして取り入れていきたい」と意気込む。

（中村優希）

神戸西物流Cが稼働

淡路共正陸運 8日に竣工式

【兵庫】淡路共正陸運（尾上昌史社長、センター）（神戸市が手掛ける初めての建ての事務所棟（延べ床150坪）も構えている。

大型トラックを中心とする実運送事業に加え、一部の事業拠点では顧客のニー

休み明け、体調に注意

中央支部中央青年協 役員・納涼会

【大阪】大ト協中央支部中央青年協議会（植田嘉樹会長）全ト協青年部会近畿ブロック大会や大ト協青年部会支部会同

総合優勝に小栗正寛氏

大ト協 ドラコンの表彰式

【大阪】大ト協は19日、第51回全国トラックドライバー・センコー 尼崎PDセンター開

センコー

勝し、内閣総理大臣杯を受理されることを大いに期待する」とあいさつした。

続いて、中原毅副会長が大会の講評として「前回に比べ、4ﾄﾝ車部門は大幅に点数が上がったが、他の3部門は前回を下回る結果となった。今後もドライバーとしての基礎知識の習得により、一層の努力に期待したい」と述べた。

前回の総合優勝者からのカップ返還の選手に推薦状が交付された。来賓挨拶では大阪運輸支局の藤本和往支局長と、大阪府警交通部交通総務課安全指導・教育担当管理官の片桐浩氏があいさつに立った。

入賞者は次の通り（敬称略）。

一般部門11ﾄﾝ車部門▽優勝＝小栗正寛（日本通運茨木支店ロジスティクスセンター）▽準優勝＝白川大輔（南大阪センコー運輸整備羅州営

4ﾄﾝ車部門▽優勝＝大原晃（日立物流西日本西淀川第一営業所）▽準優勝＝川村宜範（センコー阪神支店阪神車両センター）▽第3位＝永野一茂（西濃運輸河内支店）

トレーラ部門▽優勝＝米谷恵輔（センコー阪神支店阪神車両センター）▽準優

勝＝荻野宗一（日通関西物流コンテナ事業所大阪貨物ターミナル）▽第3位＝大谷拓也（鴻池運輸定温物流支店大阪北港定温流通センター営業所）

女性部門▽優勝＝引口知美（一宮運輸関西支社大阪営業所）

（木村麻理奈）

海外

「KO

【大阪】鴻（鴻池忠彦社阪市中央区）年1月に報道た、KONグループの考え方を定「私たちのプの英文版を新定し、社内外を開始したと「私たちの

10・11月に物流関連セミナー

【大阪】大（大阪区）は10月と11物流に関連しナーを開催す